

平成29年産花きの作付（収穫）面積及び出荷量

— 切り花類の出荷量は、前年産に比べ2%減少 —

【調査結果の概要】

1 切り花類

作付面積（注1）は1万4,460ha、出荷量は37億400万本で、前年産に比べそれぞれ130ha（1%）、7,700万本（2%）減少した。

2 球根類

収穫面積（注2）は304ha、出荷量は9,110万球で、前年産に比べそれぞれ13ha（4%）、430万球（5%）減少した。

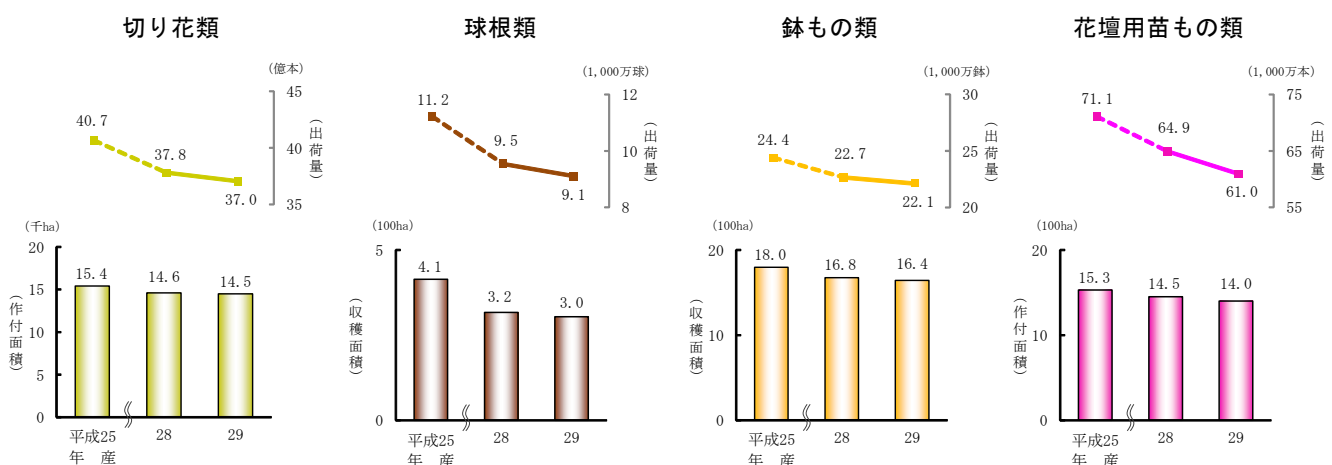
3 鉢ものの類

収穫面積は1,643ha、出荷量は2億2,120万鉢で、前年産に比べそれぞれ32ha（2%）、530万鉢（2%）減少した。

4 花壇用苗ものの類

作付面積は1,401ha、出荷量は6億960万本で、前年産に比べそれぞれ49ha（3%）、3,970万本（6%）減少した。

図1 花きの作付（収穫）面積及び出荷量（全国）



注：1 作付面積とは、販売を意図して、花き栽培のために利用することを目的に作付けした面積をいう。
2 収穫面積とは、球根類及び鉢ものの類の作付面積のうち収穫又は出荷した面積をいい、育成中の利用面積を除いたものをいう。

本資料は、農林水産省ホームページ「統計情報」の次のURLから御覧いただけます。

【 http://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/sakumotu/sakkyou_kaki/index.html#y 】

表1 平成29年産花きの作付（収穫）面積及び出荷量（全国）

類・品目	作付（収穫）面積	出荷量	対前年産比	
			作付（収穫）面積	出荷量
	a	千本（球・鉢）	%	%
切り花類	1,446,000	3,704,000	99	98
うちきく	475,800	1,504,000	99	99
カーネーション	29,500	240,200	98	96
ばら	33,600	248,200	97	97
りんどう	43,200	86,900	100	98
宿根かすみそう	20,400	50,000	nc	nc
洋ラン類	12,800	15,400	98	96
スターチス	18,700	124,900	101	102
ガーベラ	9,000	157,700	97	95
トルコギキョウ	43,400	100,900	99	100
ゆり	74,100	137,600	99	99
アルストロメリア	7,970	55,500	98	101
切り葉	65,500	122,800	99	91
切り枝	362,900	206,400	100	100
球根類	30,400	91,100	96	95
鉢ものの類	164,300	221,200	98	98
うちシクラメン	18,100	16,200	96	92
洋ラン類	19,000	14,700	97	93
観葉植物	30,400	43,200	100	102
花木類	38,300	43,300	98	98
花壇用苗ものの類	140,100	609,600	97	94
うちパンジー	26,700	129,100	97	96

注：1 切り花類、鉢ものの類及び花壇用苗ものの類の値は、表章されている内訳品目以外の品目を含んだ合計である。

2 球根類及び鉢ものの類は、収穫面積である。

3 出荷量の単位は、切り花類及び花壇用苗ものの類が千本、球根類が千球、鉢ものの類が千鉢である。

4 調査対象品目の要件を満たしたため、平成29年産から「宿根かすみそう」を追加した。

なお、調査対象品目の要件については、【調査の概要】28ページを参照。

◎ 調査結果の主な利活用

花きの振興に関する法律（平成26年法律第102号）に基づき策定された花き産業及び花きの文化の振興に関する基本方針において推進される各種対策のための資料

◎ 累年データ

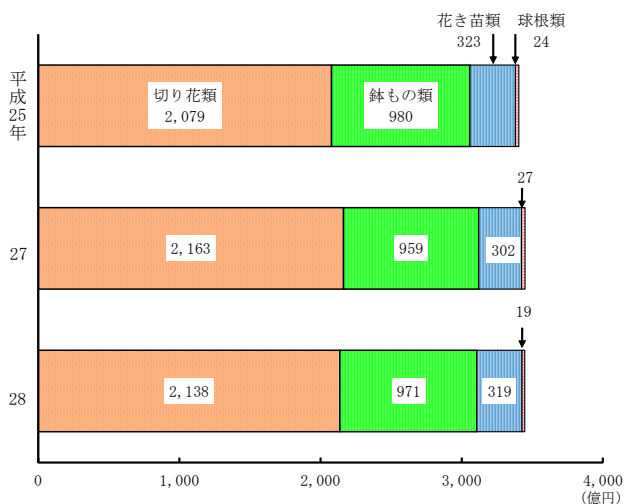
花きの類別作付（収穫）面積及び出荷量

区 分	1 切り花類		2 球根類計		3 鉢ものの類		4 花壇用苗ものの類	
	作付面積	出荷量	収穫面積	出荷量	収穫面積	出荷量	作付面積	出荷量
	ha	万本	ha	万球	ha	万鉢	ha	万本
平成20年産	16,840	473,400	567	15,720	1,963	28,400	1,640	77,720
21	16,500	455,100	538	16,620	1,870	26,880	1,607	77,500
22	16,200	435,100	505	14,950	1,859	26,120	1,569	72,170
23	15,780	416,400	478	13,400	1,833	25,390	1,559	70,860
24	15,550	406,900	472	12,660	1,798	24,730	1,568	71,450
25	15,380	406,600	414	11,210	1,796	24,410	1,531	71,090
26	15,090	394,900	379	10,810	1,764	23,360	1,491	69,240
27	14,820	386,700	364	10,200	1,732	22,960	1,488	66,600
28	14,590	378,100	317	9,540	1,675	22,650	1,450	64,930
29（概数）	14,460	370,400	304	9,110	1,643	22,120	1,401	60,960

資料：農林水産省統計部『花き生産出荷統計』

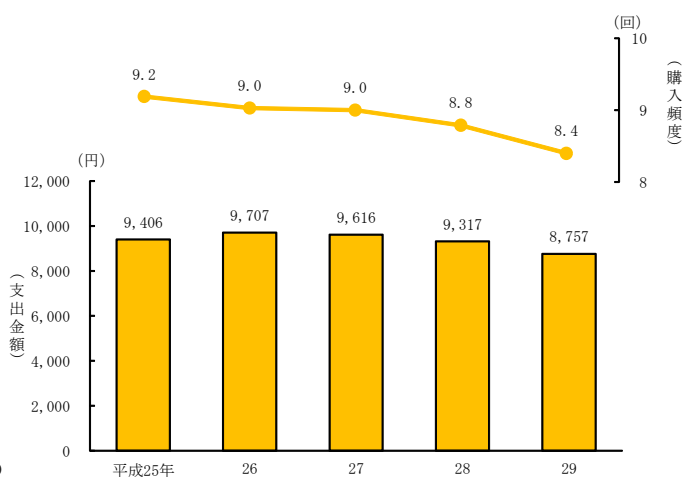
◎ 関連データ

1 花きの類別産出額



資料：農林水産省統計部『生産農業所得統計』

2 切り花の1世帯当たり年間の支出金額及び購入頻度の推移



資料：総務省『家計調査』（二人以上の世帯）

【調査結果】

1 切り花類

(1) 計（統計表16ページ参照）

ア 作付面積は1万4,460haで、前年産に比べ130ha（1%）減少した。

イ 出荷量は37億400万本で、前年産に比べ7,700万本（2%）減少した。

ウ 都道府県別出荷量割合は、愛知県が16%で最も高く、次いで沖縄県が9%となっている。

図2 切り花類の都道府県別出荷量割合

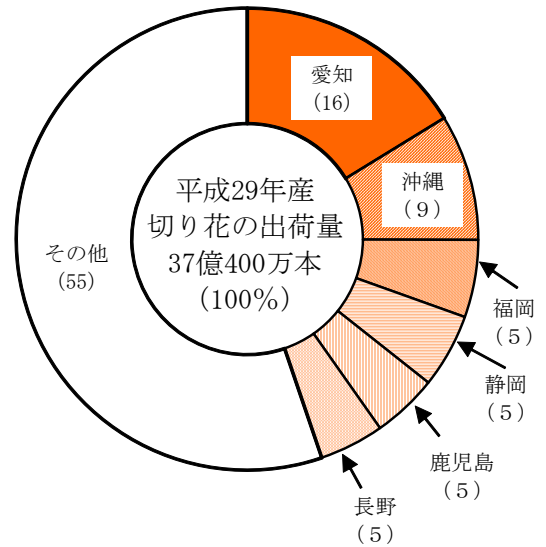


表2 平成29年産切り花類の作付面積及び出荷量

類 別	作 付 面 積	出 荷 量	対 前 年 産 比	
			作 付 面 積	出 荷 量
	ha	万本	%	%
切 り 花 類	14,460	370,400	99	98

(2) きく（統計表17ページ参照）

ア 作付面積は4,758haで、前年産に比べ43ha（1%）減少した。

イ 出荷量は15億400万本で、前年産に比べ1,000万本（1%）減少した。

ウ 都道府県別出荷量割合は、愛知県が31%で最も高く、次いで沖縄県が19%となっており、この2県で全国の5割を占めている。

図3 きくの都道府県別出荷量割合

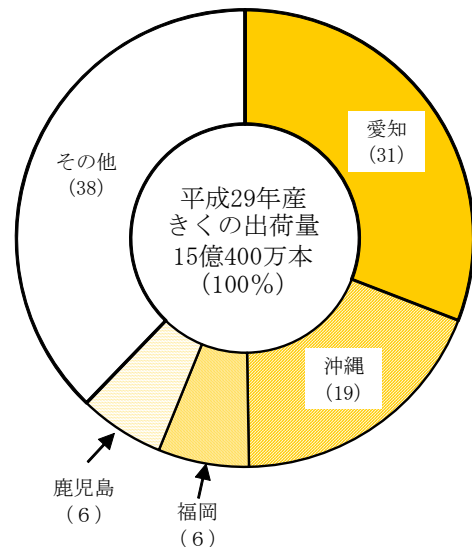


表3 平成29年産きくの作付面積及び出荷量

品 目	作 付 面 積	出 荷 量	対 前 年 産 比	
			作 付 面 積	出 荷 量
	ha	万本	%	%
き く	4,758	150,400	99	99

(3) カーネーション (統計表17ページ参照)
 ア 作付面積は295haで、前年産に比べ6 ha (2%) 減少した。

イ 出荷量は2億4,020万本で、前年産に比べ1,130万本 (4%) 減少した。

ウ 都道府県別出荷量割合は、長野県が20%で最も高く、次いで愛知県が17%、北海道が11%となっており、この3道県で全国の約5割を占めている。

図4 カーネーションの都道府県別出荷量割合

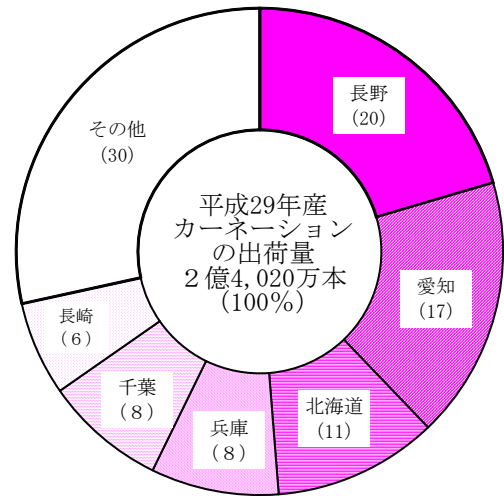


表4 平成29年産カーネーションの作付面積及び出荷量

品 目	作 付 面 積	出 荷 量	対 前 年 産 比	
			作 付 面 積	出 荷 量
	ha	万本	%	%
カーネーション	295	24,020	98	96

(4) ばら (統計表18ページ参照)
 ア 作付面積は336haで、前年産に比べ11ha (3%) 減少した。これは、高齢化等により規模を縮小したこと等による。

イ 出荷量は2億4,820万本で、前年産に比べ900万本 (3%) 減少した。これは作付面積が減少したこと等による。

ウ 都道府県別出荷量割合は、愛知県が18%で最も高く、次いで静岡県が9%、山形県が7%となっている。

図5 ばらの都道府県別出荷量割合

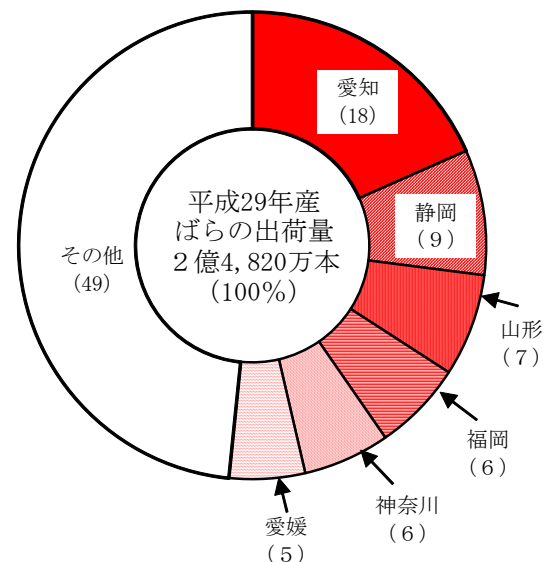


表5 平成29年産ばらの作付面積及び出荷量

品 目	作 付 面 積	出 荷 量	対 前 年 産 比	
			作 付 面 積	出 荷 量
	ha	万本	%	%
ばら	336	24,820	97	97

(5) りんどう（統計表18ページ参照）

ア 作付面積は432haで、前年産並みとなった。

イ 出荷量は8,690万本で、前年産に比べ170万本（2%）減少した。

ウ 都道府県別出荷量割合は、岩手県が全国の約6割を占めている。

図6 りんどうの都道府県別出荷量割合

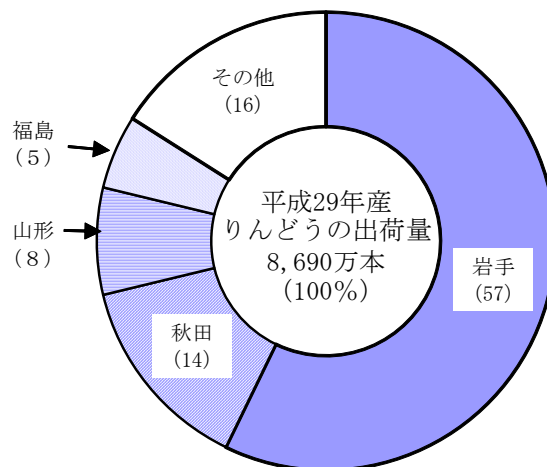


表6 平成29年産りんどうの作付面積及び出荷量

品目	作付面積	出荷量	対前年産比	
			作付面積	出荷量
りんどう	432 ha	8,690 万本	100 %	98 %

(6) 宿根かすみそう（統計表19ページ参照）

ア 作付面積は204haとなった。

イ 出荷量は5,000万本となった。

ウ 都道府県別出荷量割合は、熊本県が35%で最も高く、次いで和歌山県が23%となっており、この2県で全国の約6割を占めている。

図7 宿根かすみそうの都道府県別出荷量割合

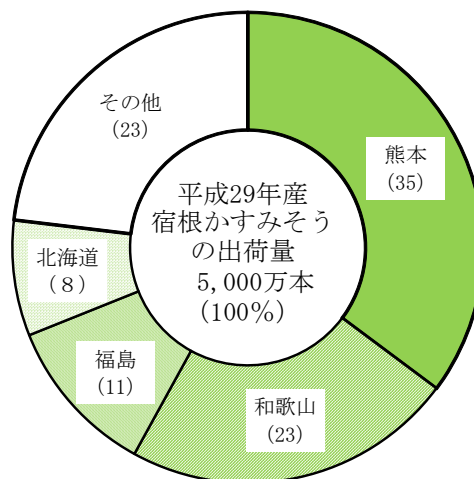


表7 平成29年産宿根かすみそうの作付面積及び出荷量

品目	作付面積	出荷量	対前年産比	
			作付面積	出荷量
宿根かすみそう	204 ha	5,000 万本	nc %	nc %

注：調査対象品目の要件を満たしたため、平成29年産から「宿根かすみそう」を追加した。
 なお、調査対象品目の要件については、【調査の概要】28ページを参照。

(7) 洋ラン類（統計表19ページ参照）

ア 作付面積は128haで、前年産に比べ2ha（2%）減少した。

イ 出荷量は1,540万本で、前年産に比べ60万本（4%）減少した。

ウ 都道府県別出荷量割合は、福岡県が17%で最も高く、次いで徳島県が14%、沖縄県が10%となっている。

図8 洋ラン類の都道府県別出荷量割合

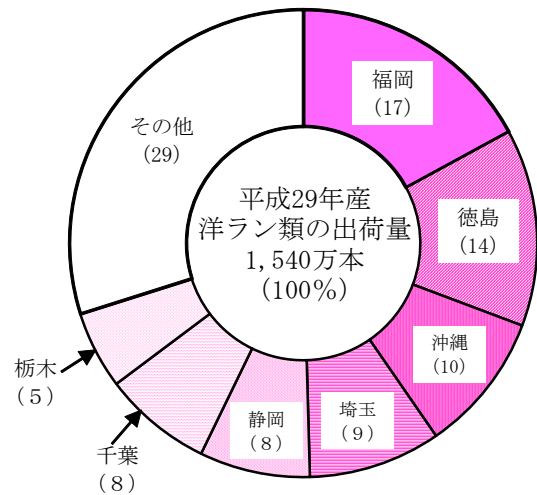


表8 平成29年産洋ラン類の作付面積及び出荷量

品 目	作 付 面 積	出 荷 量	対 前 年 産 比	
			作 付 面 積	出 荷 量
洋 ラ ン 類	ha	万本	%	%
	128	1,540	98	96

(8) スターチス（統計表19ページ参照）

ア 作付面積は187haで、前年産に比べ2ha（1%）増加した。

イ 出荷量は1億2,490万本で、前年産に比べ220万本（2%）増加した。

ウ 都道府県別出荷量割合は、和歌山県が全国の5割を占めている。

図9 スターチスの都道府県別出荷量割合

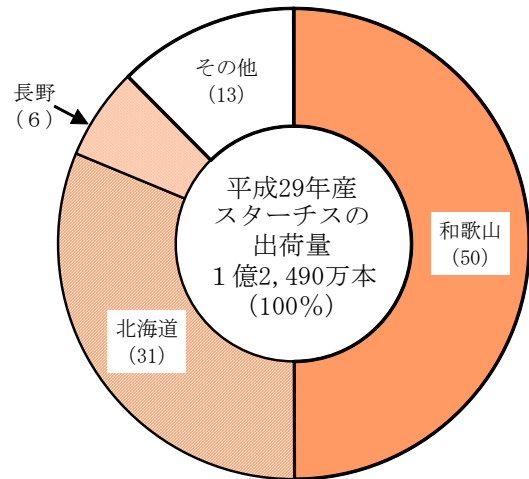


表9 平成29年産スターチスの作付面積及び出荷量

品 目	作 付 面 積	出 荷 量	対 前 年 産 比	
			作 付 面 積	出 荷 量
ス タ ー チ ス	ha	万本	%	%
	187	12,490	101	102

(9) ガーベラ (統計表20ページ参照)

ア 作付面積は90haで、前年産に比べ3ha (3%) 減少した。これは、高齢化等により規模を縮小したこと等による。

イ 出荷量は1億5,770万本で、前年産に比べ760万本 (5%) 減少した。これは、作付面積が減少したこと等による。

ウ 都道府県別出荷量割合は、静岡県が39%で最も高く、次いで福岡県が14%となっており、この2県で全国の約5割を占めている。

図10 ガーベラの都道府県別出荷量割合

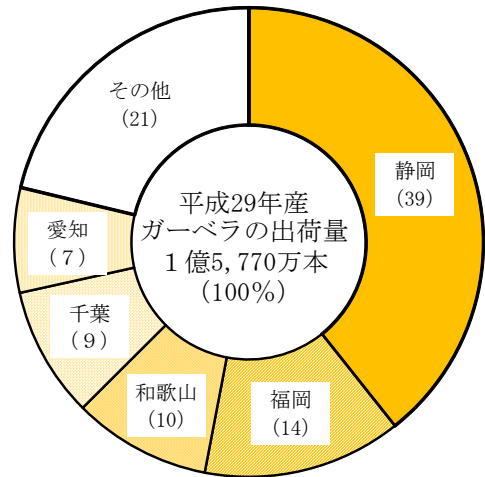


表10 平成29年産ガーベラの作付面積及び出荷量

品目	作付面積	出荷量	対前年産比	
			作付面積	出荷量
ガーベラ	90 ha	15,770 万本	97 %	95 %

(10) トルコギキョウ (統計表20ページ参照)

ア 作付面積は434haで前年産に比べ3ha (1%) 減少した。

イ 出荷量は1億90万本で、前年産並みとなった。

ウ 都道府県別出荷量割合は、長野県が13%で最も高く、次いで熊本県が12%、福岡県が9%となっている。

図11 トルコギキョウの都道府県別出荷量割合

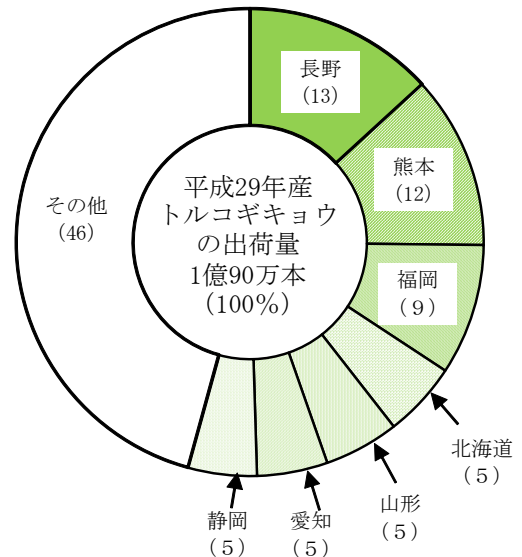


表11 平成29年産トルコギキョウの作付面積及び出荷量

品目	作付面積	出荷量	対前年産比	
			作付面積	出荷量
トルコギキョウ	434 ha	10,090 万本	99 %	100 %

(11) ゆり (統計表21ページ参照)

ア 作付面積は741haで、前年産に比べ11ha (1%) 減少した。

イ 出荷量は1億3,760万本で、前年産に比べ90万本 (1%) 減少した。

ウ 都道府県別出荷量割合は、埼玉県が20%で最も高く、次いで高知県が12%、新潟県が9%となっている。

図12 ゆりの都道府県別出荷量割合

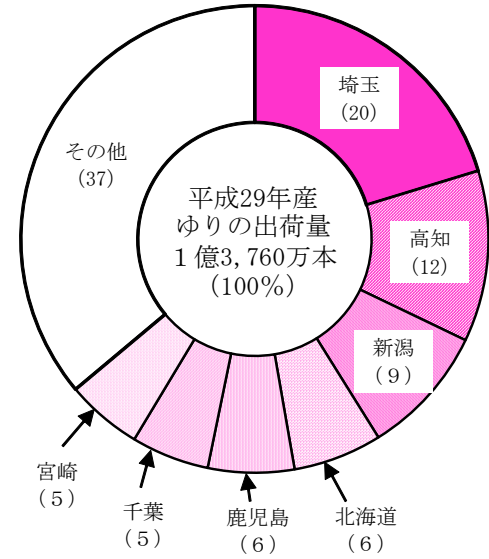


表12 平成29年産ゆりの作付面積及び出荷量

品目	作付面積	出荷量	対前年産比	
			作付面積	出荷量
ゆり	741 ha	13,760 万本	99 %	99 %

(12) アルストロメリア (統計表21ページ参照)

ア 作付面積は80haで、前年産に比べ1ha (2%) 減少した。

イ 出荷量は5,550万本で、前年産に比べ30万本 (1%) 増加した。

ウ 都道府県別出荷量割合は、長野県が35%で最も高く、次いで愛知県が17%となっており、この2県で全国の約5割を占めている。

図13 アルストロメリアの都道府県別出荷量割合

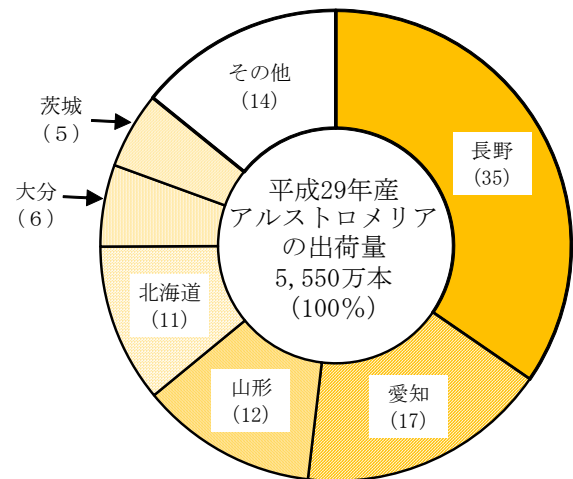


表13 平成29年産アルストロメリアの作付面積及び出荷量

品目	作付面積	出荷量	対前年産比	
			作付面積	出荷量
アルストロメリア	80 ha	5,550 万本	98 %	101 %

(13) 切り葉 (統計表21ページ参照)

ア 作付面積は655haで、前年産に比べ6ha (1%) 減少した。

イ 出荷量は1億2,280万本で、前年産に比べ1,250万本 (9%) 減少した。これは、主産地において夏期の天候不順により生育が抑制されたこと等による。

ウ 都道府県別出荷量割合は、東京都が34%で最も高く、次いで沖縄県が24%となっており、この2都県で全国の約6割を占めている。

図14 切り葉の都道府県別出荷量割合

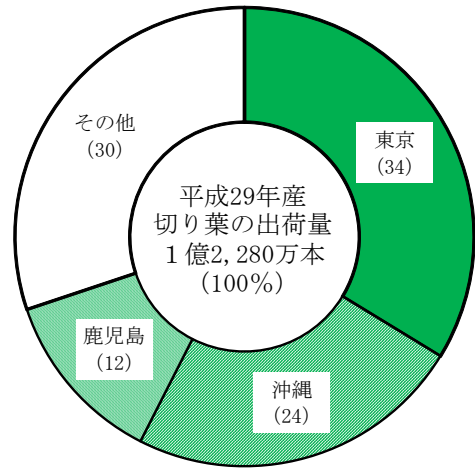


表14 平成29年産切り葉の作付面積及び出荷量

品目	作付面積	出荷量	対前年産比	
			作付面積	出荷量
	ha	万本	%	%
切り葉	655	12,280	99	91

(14) 切り枝 (統計表22ページ参照)

ア 作付面積は3,629haで、前年産並みとなった。

イ 出荷量は2億640万本で、前年産並みとなった。

ウ 都道府県別出荷量割合は、静岡県及び茨城県が15%で最も高く、次いで和歌山県が9%となっている。

図15 切り枝の都道府県別出荷量割合

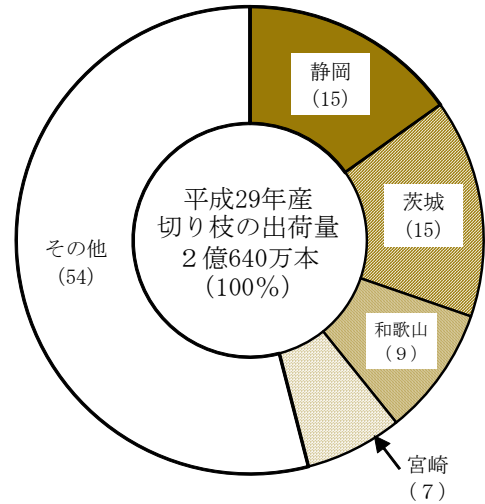


表15 平成29年産切り枝の作付面積及び出荷量

品目	作付面積	出荷量	対前年産比	
			作付面積	出荷量
	ha	万本	%	%
切り枝	3,629	20,640	100	100

2 球根類（統計表22ページ参照）

ア 収穫面積は304haで、前年産に比べ13ha（4％）減少した。これは、高齢化等により規模を縮小したこと等による。

イ 出荷量は9,110万球で、前年産に比べ430万球（5％）減少した。これは、収穫面積が減少したこと等による。

ウ 都道府県別出荷量割合は、鹿児島県が26％で最も高く、次いで新潟県及び富山県が18％となっており、この3県で全国の約6割を占めている。

図16 球根類の都道府県別出荷量割合

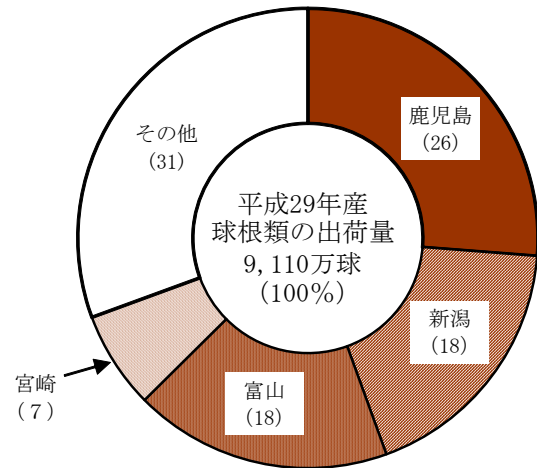


表16 平成29年産球根類の収穫面積及び出荷量

類 別	収 穫 面 積	出 荷 量	対 前 年 産 比	
			収 穫 面 積	出 荷 量
	ha	万球	%	%
球 根 類	304	9,110	96	95

3 鉢ものの類

(1) 計（統計表23ページ参照）

ア 収穫面積は1,643haで、前年産に比べ32ha（2％）減少した。

イ 出荷量は2億2,120万鉢で、前年産に比べ530万鉢（2％）減少した。

ウ 都道府県別出荷量割合は、愛知県が23％で最も高く、次いで埼玉県が11％、岐阜県が8％となっている。

図17 鉢ものの類の都道府県別出荷量割合

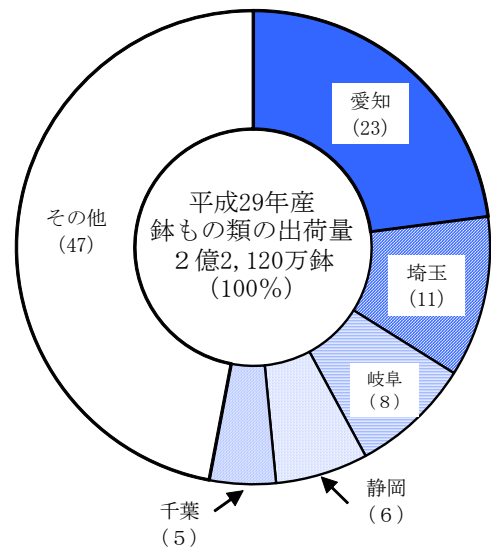


表17 平成29年産鉢ものの類の収穫面積及び出荷量

類 別	収 穫 面 積	出 荷 量	対 前 年 産 比	
			収 穫 面 積	出 荷 量
	ha	万鉢	%	%
鉢 も の 類	1,643	22,120	98	98

(2) シクラメン (統計表24ページ参照)

ア 収穫面積は181haで、前年産に比べ7ha(4%)減少した。これは、高齢化等により規模を縮小したこと等による。

イ 出荷量は1,620万鉢で、前年産に比べ140万鉢(8%)減少した。これは、収穫面積が減少したことに加え、生育期間の天候不順により生育が抑制されたこと等による。

ウ 都道府県別出荷量割合は、長野県が14%で最も高く、次いで愛知県が9%、千葉県が7%となっている。

図18 シクラメンの都道府県別出荷量割合

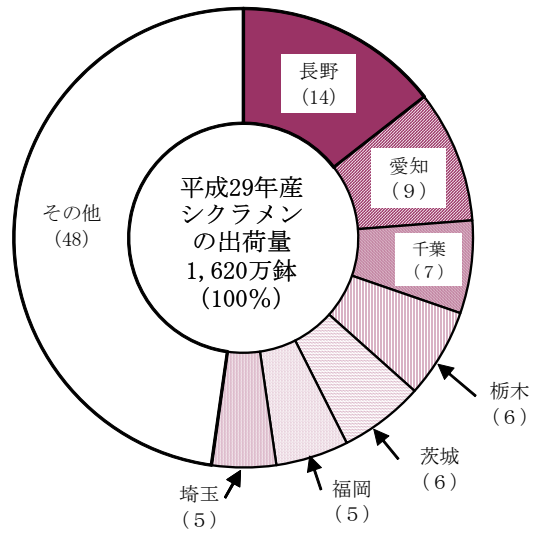


表18 平成29年産シクラメンの収穫面積及び出荷量

品目	収穫面積 ha	出荷量 万鉢	対前年産比	
			収穫面積 %	出荷量 %
シクラメン	181	1,620	96	92

(3) 洋ラン類 (統計表24ページ参照)

ア 収穫面積は190haで、前年産に比べ5ha(3%)減少した。これは、高齢化等により規模を縮小したこと等による。

イ 出荷量は1,470万鉢で、前年産に比べ110万鉢(7%)減少した。これは、収穫面積が減少したことに加え、高知県において台風被害が発生したこと等による。

ウ 都道府県別出荷量割合は、愛知県が24%で最も高く、次いで熊本県が11%、福岡県が8%となっている。

図19 洋ラン類の都道府県別出荷量割合

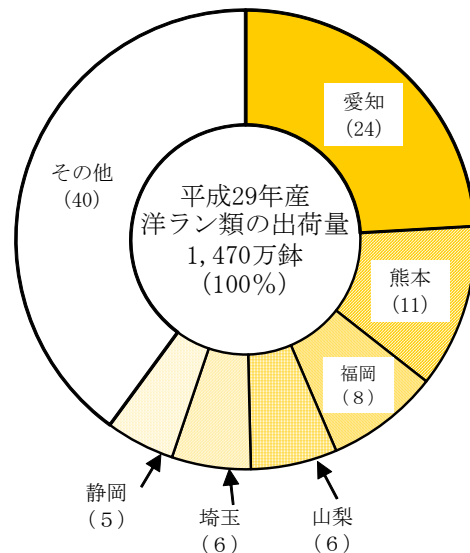


表19 平成29年産洋ラン類の収穫面積及び出荷量

品目	収穫面積 ha	出荷量 万鉢	対前年産比	
			収穫面積 %	出荷量 %
洋ラン類	190	1,470	97	93

(4) 観葉植物（統計表25ページ参照）

ア 収穫面積は304haで、前年産並みとなった。

イ 出荷量は4,320万鉢で、前年産に比べ90万鉢（2%）増加した。

ウ 都道府県別出荷量割合は、愛知県が全国の5割を占めている。

図20 観葉植物の都道府県別出荷量割合

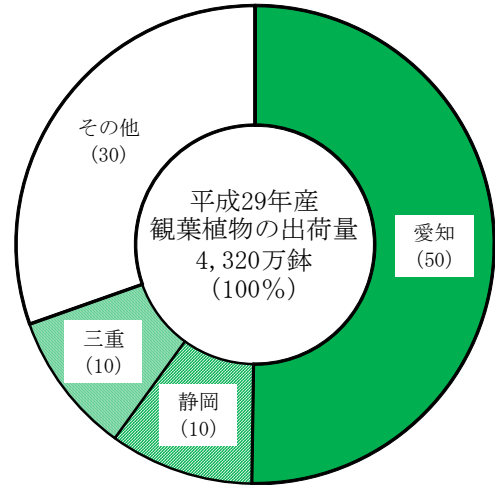


表20 平成29年産観葉植物の収穫面積及び出荷量

品目	収穫面積 ha	出荷量 万鉢	対前年産比	
			収穫面積 %	出荷量 %
観葉植物	304	4,320	100	102

(5) 花木類（統計表25ページ参照）

ア 収穫面積は383haで、前年産に比べ8ha（2%）減少した。

イ 出荷量は4,330万鉢で、前年産に比べ90万鉢（2%）減少した。

ウ 都道府県別出荷量割合は、愛知県が28%で最も高く、次いで新潟県が18%となっており、この2県で全国の約5割を占めている。

図21 花木類の都道府県別出荷量割合

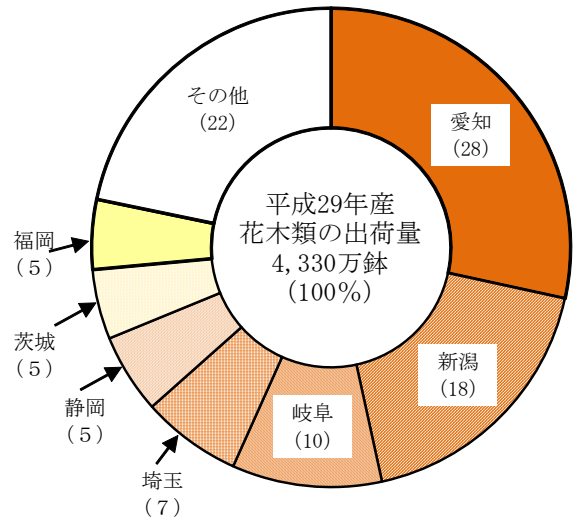


表21 平成29年産花木類の収穫面積及び出荷量

品目	収穫面積 ha	出荷量 万鉢	対前年産比	
			収穫面積 %	出荷量 %
花木類	383	4,330	98	98

4 花壇用苗もの類

(1) 計 (統計表26ページ参照)

ア 作付面積は1,401haで、前年産に比べ49ha (3%) 減少した。これは、高齢化等により規模を縮小したことや他作物へ転換したこと等による。

イ 出荷量は6億960万本で、前年産に比べ3,970万本 (6%) 減少した。これは、作付面積が減少したことに加え、生育期間の天候不順により生育が抑制されたこと等による。

ウ 都道府県別出荷量割合は、埼玉県が9%で最も高く、次いで千葉県が8%、愛知県が7%となっている。

図22 花壇用苗もの類の都道府県別出荷量割合

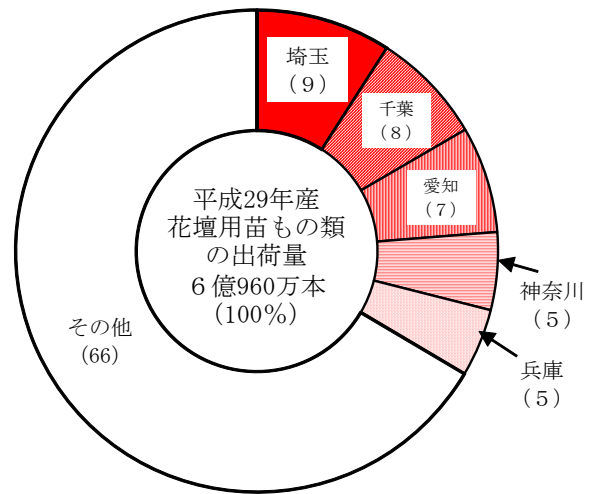


表22 平成29年産花壇用苗もの類の作付面積及び出荷量

類 別	作 付 面 積	出 荷 量	対 前 年 産 比	
			作 付 面 積	出 荷 量
	ha	万本	%	%
花 壇 用 苗 も の 類	1,401	60,960	97	94

(2) パンジー (統計表27ページ参照)

ア 作付面積は267haで、前年産に比べ8ha (3%) 減少した。これは、高齢化等により規模を縮小したことや他作物へ転換したこと等による。

イ 出荷量は1億2,910万本で、前年産に比べ550万本 (4%) 減少した。

ウ 都道府県別出荷量割合は、埼玉県及び神奈川県が8%で最も高く、次いで奈良県が6%となっている。

図23 パンジーの都道府県別出荷量割合

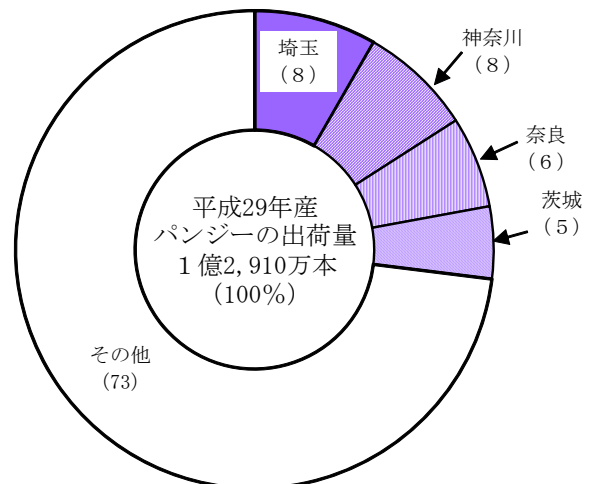


表23 平成29年産パンジーの作付面積及び出荷量

品 目	作 付 面 積	出 荷 量	対 前 年 産 比	
			作 付 面 積	出 荷 量
	ha	万本	%	%
パ ン ジ ー	267	12,910	97	96

【 統 計 表 】

統計表一覧

	ページ		ページ
平成29年産都道府県別の作付(収穫)		(12) アルストロメリア ……	21
面積及び出荷量		(13) 切り葉 ……	21
1 切り花類		(14) 切り枝 ……	22
(1) 計 ……	16	2 球根類計 ……	22
(2) きく ……	17	3 鉢もの類	
(3) カーネーション ……	17	(1) 計 ……	23
(4) ばら ……	18	(2) シクラメン ……	24
(5) りんどう ……	18	(3) 洋ラン類 ……	24
(6) 宿根かすみそう ……	19	(4) 観葉植物 ……	25
(7) 洋ラン類 ……	19	(5) 花木類 ……	25
(8) スターチス ……	19	4 花壇用苗もの類	
(9) ガーベラ ……	20	(1) 計 ……	26
(10) トルコギキョウ ……	20	(2) パンジー ……	27
(11) ゆり ……	21		

利用上の注意

- 1 統計数値については、次の方法によって四捨五入しており、合計値と内訳の計が一致しない場合がある。

原 数	7桁以上 (100万以上)	6桁 (10万)	5桁 (1万)	4桁 (1,000)	3桁以下 (100以下)
四捨五入する桁(下から)	3桁	2桁		1桁	四捨五入 しない
例					
四捨五入する前(原数)	1,234,567	123,456	12,345	1,234	123
四捨五入した数値(統計数値)	1,235,000	123,500	12,300	1,230	123

- 2 表中に用いた記号は次のとおりである。
「nc」： 計算不能
- 3 この統計表に掲載された数値を他に転載する場合は、「平成29年産花きの作付(収穫)面積及び出荷量」(農林水産省)による旨を記載してください。

平成29年産都道府県別の作付（収穫）面積及び出荷量

1 切り花類

(1) 計

全 国 都 道 府 県	作 付 面 積	出 荷 量	対 前 年 産 比	
			作 付 面 積	出 荷 量
	a	千本	%	%
全 国	1,446,000	3,704,000	99	98
うち 北海道	48,100	133,200	100	115
青森	9,240	16,700	98	99
岩手	40,100	76,200	99	96
宮城	11,300	32,300	93	92
秋田	21,800	44,300	106	100
山形	48,500	68,900	102	101
福島	44,200	62,300	96	94
茨城	55,900	97,800	100	101
栃木	18,300	56,200	96	92
群馬	23,800	39,300	99	94
埼玉	31,400	74,400	97	96
千葉	57,100	162,200	98	86
東京都	34,200	57,800	99	101
神奈川県	7,800	25,800	101	91
新潟	21,900	37,000	98	98
山梨	2,940	8,530	99	91
長野	59,200	167,500	98	97
静岡	77,700	192,700	99	96
愛知県	151,100	601,400	99	98
三重	8,270	16,300	98	101
兵庫県	18,100	51,000	98	98
奈良	24,900	66,200	97	96
和歌山	65,000	143,900	101	100
島根	5,610	9,260	97	97
岡山	11,400	37,100	100	100
山口	11,000	23,500	92	88
徳島	21,700	27,100	99	96
愛媛	24,200	25,000	100	100
高知県	43,700	57,200	98	95
福岡	51,100	200,500	100	99
佐賀	11,100	35,100	97	94
長崎	31,900	103,800	101	103
熊本	43,800	128,800	98	97
大分	22,200	67,700	101	102
宮崎	31,500	81,300	99	99
鹿児島	66,900	169,900	100	97
沖縄	97,800	326,700	100	101

注：1 平成29年産から、全国値のおおむね80%を占めるまでの上位都道府県（主産県）の要件を、出荷量から作付（収穫）面積に変更した（以下同じ。）。

2 平成29年産は主産県を対象に調査を実施しており、全国値については主産県の結果を基に推計した（以下同じ。）。

(2) きく

全 国 都 道 府 県	作 付 面 積	出 荷 量	対 前 年 産 比	
			作 付 面 積	出 荷 量
	a	千本	%	%
全 国	475,800	1,504,000	99	99
うち 岩 手	11,300	18,600	94	99
秋 田	12,200	23,400	101	98
福 島	10,700	27,000	96	94
茨 城	13,500	30,400	97	102
栃 木	11,500	30,400	96	92
長 野	11,400	29,100	97	93
静 岡	15,900	45,300	99	97
愛 知	129,300	464,200	99	99
奈 良	11,000	47,000	97	98
福 岡	24,200	96,600	100	103
長 崎	17,000	62,100	102	99
熊 本	9,120	25,600	99	101
大 分	10,700	35,600	102	101
鹿 児 島	28,100	91,000	99	96
沖 縄	78,600	283,700	100	101

(3) カーネーション

全 国 都 道 府 県	作 付 面 積	出 荷 量	対 前 年 産 比	
			作 付 面 積	出 荷 量
	a	千本	%	%
全 国	29,500	240,200	98	96
うち 北 海 道	3,420	26,200	96	100
千 葉	1,990	19,400	99	98
長 野	8,270	49,100	100	94
静 岡	780	10,100	99	99
愛 知	4,790	41,800	97	97
兵 庫	1,590	20,400	98	81
福 岡	1,050	10,500	98	99
長 崎	1,670	15,000	96	103
熊 本	730	7,150	98	101

平成29年産都道府県別の作付（収穫）面積及び出荷量（続き）

1 切り花類（続き）

(4) ばら

全 都 道 府 県	作付面積	出荷量	対前年産比	
			作付面積	出荷量
全 国	a	千本	%	%
全 国	33,600	248,200	97	97
うち 北海道	570	2,010	100	79
宮城	710	4,020	92	83
山形	1,600	17,600	94	95
茨城	728	4,170	86	91
栃木	1,210	9,320	99	97
群馬	1,660	10,400	100	101
千葉	882	6,050	99	97
神奈川	1,430	14,900	100	122
山梨	827	5,480	100	98
長野	930	4,820	99	96
静岡	3,430	21,500	97	96
愛知	4,890	45,600	97	96
三重	570	4,330	95	96
奈良	545	3,890	97	96
和歌山	980	4,950	98	91
岡山	617	4,700	92	91
山口	543	3,460	94	84
愛媛	1,230	13,000	100	100
福岡	1,900	15,500	97	93
佐賀	890	6,240	97	102
熊本	600	3,790	92	96
大分	787	3,070	89	73

(5) りんどう

全 都 道 府 県	作付面積	出荷量	対前年産比	
			作付面積	出荷量
全 国	a	千本	%	%
全 国	43,200	86,900	100	98
うち 岩手	22,700	49,700	97	93
秋田	4,320	12,200	112	113
山形	3,240	6,550	101	102
福島	3,170	4,540	100	115
長野	3,130	3,790	99	97

(6) 宿根かすみそう

全 国 都 道 府 県	作 付 面 積	出 荷 量	対 前 年 産 比	
			作 付 面 積	出 荷 量
	a	千本	%	%
全 国	20,400	50,000	nc	nc
うち 北 海 道	1,350	3,970	nc	nc
福 島	4,880	5,470	nc	nc
和 歌 山	2,110	11,400	nc	nc
高 知	1,170	2,140	nc	nc
熊 本	7,550	17,600	nc	nc

注： 調査対象品目の要件を満たしたため、平成29年産から「宿根かすみそう」を追加した。
なお、調査対象品目の要件については、【調査の概要】28ページを参照。

(7) 洋ラン類

全 国 都 道 府 県	作 付 面 積	出 荷 量	対 前 年 産 比	
			作 付 面 積	出 荷 量
	a	千本	%	%
全 国	12,800	15,400	98	96
うち 栃 木	478	827	100	89
群 馬	415	444	100	102
埼 玉	1,000	1,410	100	95
千 葉	743	1,160	98	100
静 岡	804	1,180	100	95
徳 島	2,540	2,100	97	98
高 知	395	395	99	86
福 岡	1,350	2,630	98	97
鹿 児 島	830	664	98	96
沖 縄	1,510	1,490	98	97

(8) スターチス

全 国 都 道 府 県	作 付 面 積	出 荷 量	対 前 年 産 比	
			作 付 面 積	出 荷 量
	a	千本	%	%
全 国	18,700	124,900	101	102
うち 北 海 道	6,350	39,100	99	98
千 葉	588	3,540	100	101
長 野	900	7,880	99	105
和 歌 山	7,280	62,400	104	104
熊 本	502	1,650	92	91

平成29年産都道府県別の作付（収穫）面積及び出荷量（続き）

1 切り花類（続き）

(9) ガーベラ

全 都 道 府 県	作付面積	出荷量	対前年産比	
			作付面積	出荷量
	a	千本	%	%
全 国	9,000	157,700	97	95
うち 茨 城	286	6,150	78	87
千 葉	1,070	14,200	99	89
静 岡	2,820	62,000	99	99
愛 知	800	11,400	95	91
和 歌 山	680	15,000	96	93
福 岡	1,200	21,600	100	97
熊 本	331	3,240	97	103

(10) トルコギキョウ

全 都 道 府 県	作付面積	出荷量	対前年産比	
			作付面積	出荷量
	a	千本	%	%
全 国	43,400	100,900	99	100
うち 北 海 道	3,120	5,240	104	113
青 森	902	1,560	109	126
宮 城	1,070	1,730	102	90
秋 田	2,020	3,410	100	98
山 形	2,480	5,230	98	95
福 島	2,170	4,020	100	91
群 馬	662	1,850	101	115
千 葉	1,460	3,750	94	94
長 野	4,820	13,300	102	110
静 岡	1,800	4,810	95	97
愛 知	1,270	4,930	99	100
島 根	965	1,400	95	93
高 知	1,720	3,970	96	93
福 岡	3,980	9,160	100	96
熊 本	4,650	12,100	98	100
大 分	782	2,290	92	88

(11) ゆり

全 国 都 道 府 県	作 付 面 積	出 荷 量	対 前 年 産 比	
			作 付 面 積	出 荷 量
	a	千本	%	%
全 国	74,100	137,600	99	99
うち 北 海 道	6,590	8,440	99	144
岩 手 県	2,320	2,250	99	98
福 島 県	2,380	5,280	98	111
栃 木 県	1,250	3,010	100	90
埼 玉 県	7,760	27,900	97	95
千 葉 県	3,000	7,410	100	95
新 潟 県	12,700	12,400	96	96
長 野 県	1,610	2,130	99	93
徳 島 県	1,200	2,200	99	99
高 知 県	9,920	16,300	99	96
福 岡 県	2,890	5,380	99	85
熊 本 県	1,880	4,150	101	99
宮 崎 県	3,670	7,270	104	110
鹿 児 島 県	3,540	8,210	99	101

(12) アルストロメリア

全 国 都 道 府 県	作 付 面 積	出 荷 量	対 前 年 産 比	
			作 付 面 積	出 荷 量
	a	千本	%	%
全 国	7,970	55,500	98	101
うち 北 海 道	784	6,050	98	89
山 形 県	896	6,740	100	109
茨 城 県	563	2,920	89	95
長 野 県	2,400	19,200	100	102
愛 知 県	1,380	9,600	99	98
大 分 県	480	3,120	100	114

(13) 切り葉

全 国 都 道 府 県	作 付 面 積	出 荷 量	対 前 年 産 比	
			作 付 面 積	出 荷 量
	a	千本	%	%
全 国	65,500	122,800	99	91
うち 千 葉 県	9,790	4,880	102	89
東 京 都	25,700	41,400	100	91
愛 知 県	1,630	1,760	84	81
鹿 児 島 県	4,110	15,200	100	95
沖 縄 県	11,900	29,200	98	89

平成29年産都道府県別の作付（収穫）面積及び出荷量（続き）

1 切り花類（続き）

(14) 切り枝

全 都 道 府 県	国	作付面積	出荷量	対前年産比	
				作付面積	出荷量
		a	千本	%	%
全	国	362,900	206,400	100	100
うち	山形	25,100	3,440	105	94
	福島	15,800	5,400	96	88
	茨城	35,900	31,200	102	104
	群馬	8,930	4,310	98	98
	埼玉	5,560	2,840	99	101
	千葉	10,300	7,360	100	92
	長野	7,810	6,320	100	100
	静岡	42,100	31,300	99	98
	三重	5,800	1,940	99	98
	奈良	11,900	7,850	96	95
	和歌山	43,200	18,500	101	98
	徳島	11,800	6,150	101	99
	愛媛	20,100	6,410	100	100
	高知	20,400	6,920	97	99
	熊本	5,290	5,910	100	99
	宮崎	17,700	13,900	99	111
	鹿児島	11,800	3,400	104	102

2 球根類計

全 都 道 府 県	国	収穫面積	出荷量	対前年産比	
				収穫面積	出荷量
		a	千球	%	%
全	国	30,400	91,100	96	95
うち	新潟	10,500	16,600	94	94
	富山	7,690	16,500	107	101
	宮崎	2,610	6,240	77	76
	鹿児島	4,850	23,900	100	100

3 鉢ものの類

(1) 計

全 国 都 道 府 県	収 穫 面 積	出 荷 量	対 前 年 産 比	
			収 穫 面 積	出 荷 量
全 国	a 164,300	千鉢 221,200	% 98	% 98
うち 北 海 道	1,680	3,810	104	111
岩 手	1,550	1,490	95	92
福 島	3,210	3,500	97	96
茨 城	8,200	9,920	99	103
栃 木	4,740	5,020	102	107
群 馬	4,230	4,270	100	99
埼 玉	18,300	24,300	97	96
千 葉	9,570	10,000	100	99
東 京	3,400	2,200	100	101
神 奈 川	2,700	2,310	92	94
新 潟	9,110	9,840	97	96
山 梨	1,600	2,340	77	77
長 野	6,490	7,590	99	100
岐 阜	4,780	18,200	101	102
静 岡	6,160	14,000	100	97
愛 知	31,500	50,700	97	98
三 重	2,860	6,490	99	98
岡 山	1,000	1,090	97	83
徳 島	1,370	792	100	99
高 知	432	208	100	36
福 岡	7,500	8,000	98	99
熊 本	2,910	4,380	99	93
宮 崎	2,380	2,340	100	85
鹿 児 島	9,560	2,770	98	96
沖 縄	2,540	1,090	105	105

平成29年産都道府県別の作付（収穫）面積及び出荷量（続き）

3 鉢もの類（続き）

(2) シクラメン

全 国 都 道 府 県	収 穫 面 積	出 荷 量	対 前 年 産 比	
			収 穫 面 積	出 荷 量
	a	千鉢	%	%
全 国	18,100	16,200	96	92
うち 北 海 道	361	502	95	94
岩 手	353	197	93	92
福 島	1,000	660	98	80
茨 城	1,190	967	98	87
栃 木	1,150	1,020	86	86
群 馬	1,320	628	99	100
埼 玉	1,030	732	98	97
千 葉	1,580	1,060	100	106
東 京	335	215	100	96
神 奈 川	689	568	97	105
山 梨	366	228	76	76
長 野	1,830	2,340	99	87
岐 阜	390	425	97	97
愛 知	1,690	1,510	93	93
三 重	300	240	100	96
福 岡	800	832	100	98

(3) 洋ラン類

全 国 都 道 府 県	収 穫 面 積	出 荷 量	対 前 年 産 比	
			収 穫 面 積	出 荷 量
	a	千鉢	%	%
全 国	19,000	14,700	97	93
うち 栃 木	652	486	99	95
埼 玉	1,130	817	100	95
神 奈 川	412	267	87	106
山 梨	1,050	896	97	103
長 野	560	285	99	102
静 岡	886	717	99	91
愛 知	4,730	3,540	99	97
三 重	265	212	90	76
岡 山	431	303	90	91
徳 島	900	412	99	99
高 知	400	188	100	34
福 岡	1,850	1,170	99	94
熊 本	950	1,690	98	100
宮 崎	1,020	244	93	83

(4) 観葉植物

全 国 都 道 府 県	収 穫 面 積	出 荷 量	対 前 年 産 比	
			収 穫 面 積	出 荷 量
	a	千鉢	%	%
全 国	30,400	43,200	100	102
うち 千 葉	1,670	1,560	100	101
東 京	1,500	197	100	101
静 岡	2,180	4,210	100	116
愛 知	9,020	21,700	98	100
三 重	1,060	4,170	100	100
鹿 児 島	8,340	1,520	100	98
沖 縄	1,750	735	117	117

(5) 花木類

全 国 都 道 府 県	収 穫 面 積	出 荷 量	対 前 年 産 比	
			収 穫 面 積	出 荷 量
	a	千鉢	%	%
全 国	38,300	43,300	98	98
うち 福 島	226	165	74	115
茨 城	2,530	2,040	99	99
群 馬	623	580	100	97
埼 玉	5,660	2,920	100	102
千 葉	1,210	917	100	100
新 潟	8,030	7,870	97	98
岐 阜	1,260	4,380	102	95
静 岡	1,290	2,330	100	97
愛 知	7,470	12,300	97	98
福 岡	2,900	2,040	100	97

平成29年産都道府県別の作付（収穫）面積及び出荷量（続き）

4 花壇用苗もの類

(1) 計

全 都 道 府 県	作付面積	出荷量	対前年産比	
			作付面積	出荷量
全 国	a	千本	%	%
全 国	140,100	609,600	97	94
うち 北海道	2,820	11,800	97	76
岩手	1,150	4,900	94	94
山形	2,680	10,800	98	96
福島	1,050	3,930	92	81
茨城	6,420	26,600	95	95
栃木	2,140	10,600	85	77
群馬	4,210	16,000	95	90
埼玉	18,000	55,300	99	99
千葉	12,600	45,900	100	93
東京	4,490	14,000	97	98
神奈川	7,260	31,700	97	97
岐阜	4,370	18,500	100	99
静岡	3,620	16,400	100	96
愛知	10,200	43,500	94	90
三重	3,600	21,600	98	89
京都	1,820	7,850	94	87
大阪	1,880	8,890	100	104
兵庫	5,170	27,800	98	107
奈良	3,650	26,600	94	90
鳥取	2,040	8,340	85	124
島根	4,470	4,780	96	97
岡山	1,970	8,590	86	90
広島	1,990	13,900	98	99
山口	2,060	12,600	96	96
福岡	3,900	24,100	90	77
熊本	1,970	10,500	101	98
宮崎	3,320	16,600	100	105
鹿児島	3,460	16,500	101	99

(2) パンジー

全 国 都 道 府 県	作 付 面 積	出 荷 量	対 前 年 産 比	
			作 付 面 積	出 荷 量
	a	千本	%	%
全 国	26,700	129,100	97	96
うち 岩 手	382	1,430	94	93
山 形	792	3,520	100	99
福 島	282	1,170	100	83
茨 城	1,540	6,300	91	89
栃 木	504	3,440	97	101
群 馬	708	3,460	95	92
埼 玉	2,210	10,700	100	98
千 葉	1,450	5,710	100	96
東 京	622	1,870	100	101
神 奈 川	2,080	9,840	100	100
静 岡	1,100	5,310	99	100
愛 知	1,600	5,460	91	93
三 重	900	5,420	97	86
京 都	411	2,700	93	89
大 阪	580	3,070	98	96
兵 庫	714	4,610	97	101
奈 良	1,190	7,980	96	93
鳥 取	530	1,840	95	130
岡 山	882	2,570	95	95
広 島	773	4,650	96	99
福 岡	928	5,160	99	90
熊 本	645	3,010	101	99
宮 崎	707	3,340	106	106

【調査の概要】

1 調査の目的

本調査は、作物統計調査の作況調査の花き調査として実施したものであり、花きの作付（収穫）面積及び出荷量の現状とその動向を明らかにし、花きの振興に関する法律に基づき策定された花き産業及び花きの文化の振興に関する基本方針において推進される各種対策のための資料を作成することを目的としている。

2 調査の対象

(1) 調査の範囲

全ての都道府県を調査対象とする全国調査（直近では作付（収穫）面積調査及び出荷量調査ともに平成28年産）を作付（収穫）面積調査にあつては3年、出荷量調査にあつては6年ごとに実施している。中間年は、調査対象品目ごとに、全国調査年における作付（収穫）面積の全国値のおおむね80%を占めるまでの上位都道府県を調査対象（主産県）としている。

平成29年産から、おおむね80%を占めるまでの上位都道府県の要件を、出荷量から作付（収穫）面積に変更した。

(2) 調査対象の選定

ア 関係団体調査（全数調査）

調査対象品目を取り扱っている全ての農協等の関係団体とした。

イ 標本経営体調査（標本調査）

都道府県ごとの出荷量に占める関係団体の取扱数量の割合が8割に満たない都道府県については、2015年農林業センサスにおいて、調査対象品目を販売目的で作付けし、関係団体以外に出荷した農業経営体から無作為に抽出した。

なお、平成28年産までは、花きの出荷金額が5,000万円以上の集出荷団体等及び2015年農林業センサス結果に基づく花き・花木の販売金額が2,000万円以上の個人出荷農家等を対象に調査を実施していたが、平成29年産から、上記ア及びイに変更した。

(3) 調査対象者数

関係団体調査			標本経営体調査				
団体数 ①	有効回収数 ②	有効回収率 ③=②/①	母集団の大きさ ④	標本の大きさ ⑤	抽出率 ⑥=⑤/④	有効回収数 ⑦	有効回収率 ⑧=⑦/⑤
団体	団体	%	経営体	経営体	%	経営体	%
590	516	87.5	28,944	4,415	15.3	2,396	54.3

注：「有効回収数」は、回収があったもののうち、当年産において作付けがなかった標本経営体等を除いた数である。

3 調査事項

次の調査対象品目ごとに、当該年産（1～12月）の作付（収穫）面積及び出荷量。

なお、調査対象品目については、直近の2年間連続して花き計の生産額に占める割合が1%以上の品目並びに切り花類計、球根類計、鉢もの類計及び花壇用苗もの類計とした。

類別	品目
切り花類	切り花類計（以下のきくから切り枝以外の切り花類を含む。）、きく、カーネーション、ばら、りんどう、宿根かすみそう、洋ラン類、スターチス、ガーベラ、トルコギキョウ、ゆり、アルストロメリア、切り葉、切り枝
球根類	球根類計
鉢もの類	鉢もの類計（以下のシクラメンから花木類以外の鉢もの類を含む。）、シクラメン、洋ラン類、観葉植物、花木類
花壇用苗もの類	花壇用苗もの類（パンジー以外の花壇用苗もの類を含む。）、パンジー

4 調査期日

平成30年2月末日に実施した。

5 調査方法

本調査は、関係団体に対する往復郵送調査又はオンライン調査及び標本経営体に対する往復郵送調査により行った。

6 集計方法

(1) 都道府県値

作付（収穫）面積の集計は、関係団体調査結果を基に行っており、職員又は統計調査員による巡回・見積り及び職員による情報収集により補完している。

出荷量の集計は、関係団体調査及び標本経営体調査結果から得られた1a当たり出荷量を、必要に応じて職員又は統計調査員による巡回及び職員による情報収集の結果により補完し、これに作付（収穫）面積を乗じて算出している。

(2) 全国値

本年産調査は主産県調査年に当たることから、全国調査を行った平成28年産の調査結果に基づき、次により推計した。

$$\text{全国値} = \frac{\text{平成28年産の全国値} \times \text{当年産の調査対象都道府県値の合計値}}{\text{平成28年産における当年産の調査対象都道府県値の合計値}}$$

7 実績精度

本調査結果（主産県計）の実績精度を標準誤差率（標準誤差の推定値÷推定値×100）により示すと、次のとおりである。

区 分	標準誤差率(%)
切り花類計	2.0
球根類計	8.2
鉢ものの類計	7.8
花壇用苗ものの類計	6.9

8 用語の解説

- (1) 作付面積とは、販売を意図して、花き栽培のために利用することを目的に作付けした面積をいう。したがって、自家用として庭園等に栽培したもの及び公園などで観賞用に植え付けられているもの等の面積は除く。
- (2) 収穫面積とは、球根類及び鉢ものの類の作付面積（鉢ものの類にあつては、鉢が占有しているベッド、棚等の延べ面積をいう。）のうち、収穫又は出荷した花きの利用面積をいい、育成中の球根類等の利用面積を除いたものをいう。
- (3) 出荷量とは、収穫された花きのうち販売に供されたものの量をいう。

9 その他

この資料の数値は、概数値である。確定した詳細な数値は、ホームページに掲載（平成30年11月予定）するとともに、その後刊行する『平成29年産花き生産出荷統計』に掲載する。

なお、公表した数値の正誤情報は、ホームページでお知らせする。

【ホームページ掲載案内】

- 各種農林水産統計調査結果は、農林水産省ホームページ中の統計情報で御覧いただけます。
【 <http://www.maff.go.jp/j/tokei/> 】
この結果は、分野別分類「作付面積・生産量、被害、家畜の頭数など」、品目別分類「花き」の「作況調査（花き）」で御覧いただけます。
【 http://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/sakumotu/sakkyou_kaki/index.html#y 】

【関連リンク】

花き関係ページ：農林水産省＞組織別から探す＞生産局＞園芸作物（野菜・果樹・花き）＞
花き振興コーナー
<http://www.maff.go.jp/j/seisan/kaki/flower/>

お問合せ先

◎本統計調査結果について

農林水産省 大臣官房統計部
生産流通消費統計課 園芸統計班
電話：（代表）03-3502-8111 内線3680
（直通）03-6744-2044
FAX： 03-5511-8771

◎農林水産統計全般について

農林水産省 大臣官房統計部
統計企画管理官 広報普及班
電話：（代表）03-3502-8111 内線3589
（直通）03-6744-2037
FAX： 03-3501-9644



政府統計

政府統計の総合窓口
(e-Stat)

<http://www.e-stat.go.jp/>